

皮膚汚染菌を含むグラム陽性球菌に対する

FilmArray®血液培養パネルの有用性の検討

関西労災病院 薬剤部では、「皮膚汚染菌を含むグラム陽性球菌に対する FilmArray®血液培養パネルの有用性の検討」という臨床研究を行っています。そのため、患者さんの診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は当院の臨床治験倫理審査委員会にて審査・承認を受け、病院長による実施の許可を得て行います。

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

【目的】

菌血症は死亡率が高く、早期に適切な治療を実施する必要があります。当院では菌血症患者に対して適切な抗菌薬加療を行うため、抗菌薬適正使用支援チームによる介入を実施しています。この取り組みを強化するために、2023年8月より全自動遺伝子解析装置である FilmArray®血液培養パネルを用いた検査を導入することで、早期に原因菌を特定し適切な抗菌薬加療を行えるような体制を整えています。一方で、FilmArray®血液培養パネル検査は高額な検査であり、費用対効果も考慮して検査を実施する細菌の種類を決定する必要があります。この検査の有用性は感染症の起炎菌^{*1} に関しては複数報告されていますが、皮膚汚染菌^{*2} を含めた有用性まで検討した報告は限られています。今回、汚染菌を含めたグラム陽性球菌に対する FilmArray®血液培養パネル検査の有用性について検討します。

※1：感染症を引き起こす原因菌

※2：皮膚表面の常在菌で必ずしも感染症の原因とはならない細菌

【利用方法】

FilmArray®血液培養パネル検査の有用性を調査するため、カルテ情報の調査を行い統計学的な解析を行います。

【研究実施期間】

実施許可日 ～ 2026年 12月 31日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【対象となる情報の取得期間】

2022年11月～12月、2024年11月～12月

【対象】

当院において2022年11月～12月、2024年11月～12月の期間に血液培養からグラム陽性球菌が検出された患者さん

2. 利用し、又は提供する試料・情報の項目

患者背景（性別、年齢、qSOFA、ピット菌血症スコア、チャールソン併存疾患指数）、抗菌薬治療歴、血液培養が陽性になるまでの時間、検出菌、血液培養採取からの30日死亡率

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

3. 利用又は提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日以降

4. 利用する者の範囲（研究責任者）

関西労災病院 薬剤部 川端 俊介

5. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

自施設での試料・情報の管理責任を有する者：関西労災病院 竹原徹郎

6. 利用または提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には下記のお問い合わせ先にご連絡ください。停止の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の停止の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

7. 問い合わせ先

当院の研究責任者

川端 俊介

関西労災病院 薬剤部

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘3-1-69

TEL: 06-6416-1221 (代表)

FAX: 06-6419-1870 (代表)

E-mail: kawahata-shunsuke@kansaih.johas.go.jp